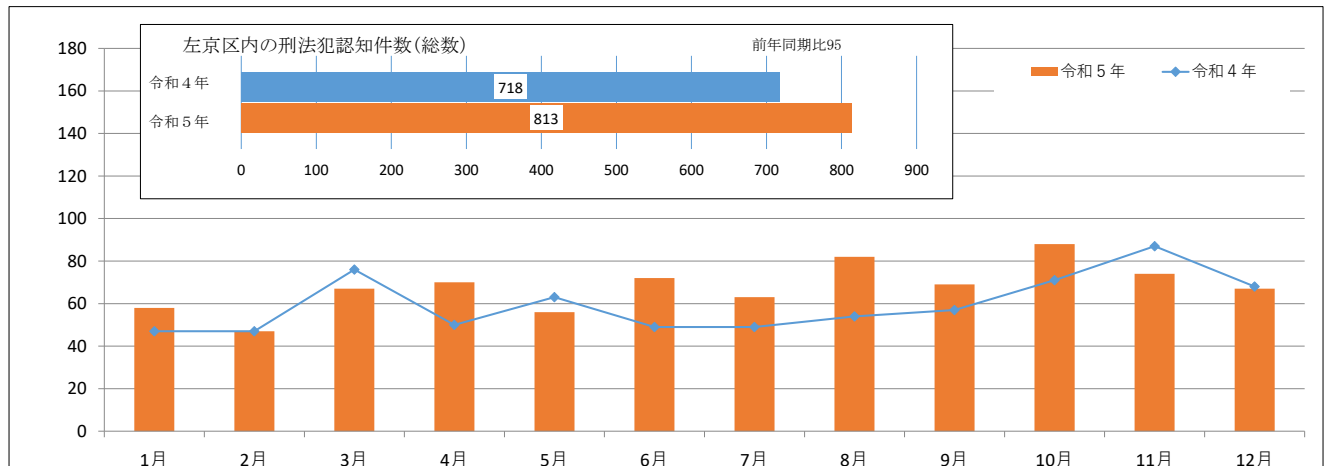


被害の傾向【令和5年12月末】

- 令和5年12月末の左京区内（川端・下鴨警察署認知件数）における刑法犯認知件数は、813件（前年対比+95件）と増加しています。
- 特殊詐欺被害件数は、府内では対前年比で15件減少、左京区内では対前年比で1件減少(川端署管内で4件、下鴨署管内で10件認知)しています。
- 府内の特殊詐欺被害で最も多い手口は、「キャッシュカード詐欺盗」（キャッシュカードが不正に利用されているなどの名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見て同カードを窃取するもの）で59件認知しており、次いで「預貯金詐欺」37件、左京区内でも同様に「キャッシュカード詐欺盗」6件、「預貯金詐欺」3件認知しています。

1 月別刑法犯認知件数の推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和4年	47	47	76	50	63	49	49	54	57	71	87	68
令和5年	58	47	67	70	56	72	63	82	69	88	74	67
対比	+11	+0	-9	+20	-7	+23	+14	+28	+12	+17	-13	-1

2 罪種別の認知状況

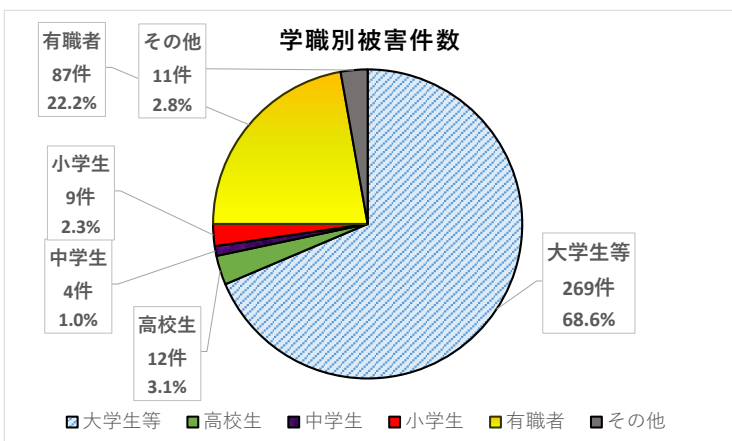
	京都市内				川端・下鴨警察署認知件数			
	件数	割合	前年対比		件数	割合	前年対比	
全刑法犯	11,885	100.0%	1307	12.4%	813	100.0%	95	13.2%
自転車盗	3,109	26.2%	662	27.1%	392	48.2%	120	44.1%
オートバイ盗	268	2.3%	35	15.0%	16	2.0%	-8	-33.3%
自動車盗	51	0.4%	-17	-25.0%	2	0.2%	-1	-33.3%
ひったくり	17	0.1%	-2	-10.5%	0	0.0%	0	0.0%
車上ねらい	495	4.2%	11	2.3%	43	5.3%	0	0.0%
部品ねらい	191	1.6%	-32	-14.3%	11	1.4%	0	0.0%
空き巣	125	1.1%	4	3.3%	5	0.6%	-4	-44.4%
万引き	1,881	15.8%	168	9.8%	82	10.1%	15	22.4%
置引き	317	2.7%	33	11.6%	17	2.1%	7	70.0%
器物損壊	905	7.6%	-101	-10.0%	27	3.3%	-32	-54.2%
その他	4,526	38.1%	546	13.7%	218	26.8%	-2	-0.9%

3 左京区における場所別、手口別自転車盗認知状況

	道路上		大学等構内		アパート・マンション等		その他		合計	
施錠あり	8	24.2%	44	43.1%	65	37.8%	33	38.8%	150	38.3%
施錠なし	25	75.8%	58	56.9%	107	62.2%	52	61.2%	242	61.7%
合計	33		102		172		85		392	100.0%

4 左京区における被害者の学職別、場所別自転車盗認知件数

	道路上		大学等構内		アパート・マンション等		その他		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
大学生等	20	7.4%	91	33.8%	126	46.8%	32	11.9%	269	68.6%
高校生	3	25.0%	2	16.7%	2	16.7%	5	41.7%	12	3.1%
中学生	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	2	50.0%	4	1.0%
小学生	0	0.0%	0	0.0%	4	44.4%	5	55.6%	9	2.3%
有職者	9	10.3%	8	9.2%	35	40.2%	35	40.2%	87	22.2%
その他	1	9.1%	1	9.1%	3	27.3%	6	54.5%	11	2.8%
総計	33	8.4%	102	26.0%	172	43.9%	85	21.7%	392	100.0%



左京区内での自転車盗被害の割合は依然として高く、全体の**48.2%**でした。
 自転車盗の被害場所は、**大学等構内及びアパート・マンション等(69.9%)**で発生し、被害者の学職別では、**大学生等(68.6%)**が大半を占めています。



5 特殊詐欺発生状況(左京区内)

	被害件数				予兆電話		
	令和5年12月末	令和4年12月末	前年同期比		令和5年12月末	令和4年12月末	前年同期比
合計	14件	13件	+1件	合計	283件	209件	+74件
オレオレ	2件	3件	-1件	電話	177件	135件	+42件
預貯金	3件	0件	+3件	メール	39件	42件	-3件
架空請求	1件	2件	-1件	ポップアップ表示	60件	30件	+30件
還付金	1件	1件	+0件	その他	7件	2件	+5件
キャッシュカード詐欺盗	6件	7件	-1件				
金融商品取引詐欺	1件	0件	+1件				

○ 京都府内
 被害総額 6億6,090万5,233円 (前年同期比 +2億8,784万9,729円)
 被害件数 189件 (前年同期比 -15件)
 予兆電話 3,917件 (前年同期比 +1150件)

【最近の特殊詐欺事例】

(事例1)

令和5年12月〇日午前9時30分頃、フェイスブックを通じてライン友達になった者からの投資話を信じ、金融機関を通じて、●●銀行〇〇支店の△△という会社へ500万円の振り込み手続きを行った。

同日午前11時頃になり、上記、●●銀行××支店の窓口担当者から詐欺の可能性が高いとの報告を受けた窓口担当者的上司は、直ちに相談者(振込者)への連絡を取り、振込手続きを中止し、振込金500万円の返金手続きを行った。

➡ 金融機関の判断により、詐欺被害の未然防止につながった。

(事例2)

令和6年1月〇日、国税庁を騙る者が「国税庁です。税金の滞納があります。海外で買い物された件です。」と電話し、「心当たりがないです。」と答えたところ、「カードが偽造されている可能性があるので、警察に電話をつなぎます。」と連絡した。その後、警察を騙る者が、「警察です。逮捕した犯人があなたのキャッシュカードを持っていました。あなたの資産を調べる必要があります。あなたの資産を指定の口座に送金してください。」と連絡を受けた。

➡ 偽国税庁職員、偽警察官を信じ、資産を送金して、詐欺被害に至った。